

第 1 回足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 運動・スポーツ部会 会議録

会議名	第 1 回 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 運動・スポーツ部会
事務局	地域のちから推進部生涯学習支援課
開催年月日	令和 7 年 7 月 1 日（火）
開催時間	15 時 00 分～16 時 45 分
開催場所	足立区役所本庁舎別館 2 階 201 会議室
出席者 （敬称略、順不同）	溝口紀子（日本女子体育大学 教授）／伊藤のぶゆき（区議会議員）／木村潤平（パラリンピックトライアスロン選手（一般社団法人 Challenge Active Foundation 代表理事））／田中ひろ子（公益財団法人足立区スポーツ協会 会長）／中村重男（区民（公募）） 大久保中央図書館長・3 分野連携担当課長／原田スポーツ振興課長／齋藤生涯学習支援課文化・読書・スポーツ連携推進担当／早川地域文化課調整係長／坪井スポーツ振興課振興係長
欠席者	栢山猛（株式会社サンベルクスホールディングス スポーツクラブ事業部 事業部長）
会議次第	別紙のとおり
資料	資料 1 足立区文化・読書・スポーツ推進委員会 委員名簿 資料 2 第 2 回全体会における意見及び今後の方針 資料 3 足立区運動・スポーツ推進計画 活動指標管理表（令和 6 年度実施分） 資料 4 足立区運動・スポーツ推進計画 施策評価シート（令和 6 年度実施分） 資料 5-1 足立区文化・読書・スポーツ推進計画 評価体系 資料 5-2 足立区文化・読書・スポーツ推進計画（2 次・3 次評価）評価基準 資料 6-1 足立区運動・スポーツ推進計画 評価実施状況（令和 3 年度） 資料 6-2 足立区運動・スポーツ推進計画 評価実施状況（令和 4 年度） 資料 6-3 足立区運動・スポーツ推進計画 評価実施状況（令和 5 年度） 資料 7-1 アンケート質問項目検討表（事務局案・16 歳以上用） 資料 7-2 アンケート質問項目検討表（事務局案・小 5・中 1 用）

	(参考) 参考 01-1 令和 3 年度 アンケート調査票 (16 歳以上用) 参考 01-2 令和 3 年度 アンケート調査票 (小 5・中 1 用)
その他	傍聴者なし

(審議経過)

■事務局（スポーツ振興課長）

ただいまから第 1 回足立区文化・読書・スポーツ推進委員会の運動・スポーツ部会を開催させていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本部会の事務局を務めさせていただきますスポーツ振興課長の原田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、事務局として、同じく地域のちから推進部中央図書館長並びに 3 分野連携担当課長を兼務しておる大久保が同席しておりますので、併せてよろしくお願いいたします。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

よろしくお願いいたします。

■事務局（スポーツ振興課長）

着座にて失礼します。

初めに、4 点ご案内させていただきます。

まず、本部会は、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会条例第 6 条第 2 項に基づきまして、過半数の委員の出席により委員会が成立いたします。本日は栢山委員がご欠席でございますけれども、定員 6 名に対して 5 名の方がご出席いただいておりますので、委員会が成立していることをご報告させていただきます。

続きまして、本部会が条例で公開を原則としているものですから、会議録はホームページ等で公開させていただきます。また、会議録を正確に作成するために皆様のご発言を録音させていただいております。また、記録のために写真撮影もさせていただく場合がございますので、併せてご了解いただければと思います。

次第に入りましたら、ご発言の際には、最初に委員のお名前をおっしゃっていただきまして、ご発言をいただければと思います。

最後に、配付資料の確認をさせていただきます。本日の配付資料は次第裏面の一覧のとおりでございます。資料 1 から参考 1 まで、非常に多くの資料で大変恐縮ですが、順次ご説明等をさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。また、閲覧用といたしまして、計画書の冊子をお手元にご用意させていただいておりますので、必要に応じてご参照いただければと思います。

早速でございますけれども、次第に沿って進行させていただければと思います。

1 新委員の紹介・委嘱状交付

■事務局（スポーツ振興課長）

まず「1 新委員の紹介・委嘱状交付」から始めさせていただきます。

資料 1、足立区文化・読書・スポーツ推進委員会委員名簿をご覧ください。

今回、太枠でお示ししております区議会議員の委員の皆様につきまして変更がございました。運動・スポーツ部会につきましては、新しく伊藤のぶゆき様に本推進委員会の委員にご就任いただき、運動・スポーツ分野における議論をより深めてまいりたいと存じます。

それでは、これより委嘱状の交付を行いたく存じます。

委嘱状の交付につきまして、恐れ入りますが、3 分野連携課長より伊藤様へお渡しいただきたく

お願いいたします。

(委嘱状の手交)

■事務局（スポーツ振興課長）

ありがとうございました。伊藤委員、ご着席ください。

こちらの委員構成で本部会を運営してまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速でございますが、ここからは溝口部会長に進行をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

■溝口部会長

進行を務めさせていただきます溝口でございます。何せ初めてなので至らぬ点があると思いますが、議事進行にご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、着座にて失礼します。

最初、運動・スポーツ部会というところで、足立区は地域の力、読書・スポーツ・文化というところで、全てが掛け算になって大きな地域の力になるというところで、スポーツも足立区は施設・環境を利用して、東京都では発信力が高いポテンシャルを持っていると思います。この運動・スポーツ部会でも、足立区のポテンシャルを引き出すべく皆様のご提案を頂けたらと思います。ぜひご協力のほど、よろしくお願いいたします。

本日は事務局からの説明を基に 3 分野の計画の評価を重点的に行いまして、今後のアンケートの質問項目について、皆様からご意見を賜りたいと思います。それを踏まえて、次回の部会で3分野計画の評価、またアンケート質問の項目について読書部会としての案も取りまとめて、3 分野の部会として取りまとめていきたいと思っております。

2 第2全体会における意見及び今後の方針

■溝口部会長

それでは早速、次第に従って事務局から説明をお願いしたいと思います。

まず、次第の項番「2 第2回全体会における意見及び今後の方針」について、事務局から説明をお願いいたします。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

事務局、大久保からご説明させていただきます。ご説明に使用させていただく資料は、資料2となります。A4 縦のものになります。こちらをお手元にご用意ください。

前回、5 月 26 日に行われました第2回全体会でのご意見と、それを踏まえた現時点での区の方針をお示ししたのになります。内容は多岐にわたりますけれども、特に重要な部分を抜粋してご説明させていただきます。

まず1 ページ目、項番1の「現在の3 分野計画の評価について」というところになりますけれども、中村委員から頂いたご意見になりますが、「過去にどのような評価がなされ、それに対してどのような対応がされたか、そういった資料も提供してもらいたい」というご意見がありましたので、本日、資料を作成させていただいております。後ほどまた触れさせていただきますけれども、資料6-1、6-2、6-3 が令和3 年度以降に委員会からどのような評価をいただいて、それに対して区がどのような対応を行ったかというものをまとめたものになりますので、評価の際のご参考にしていただければと思います。

続きまして、項番 5 のところになります。こちらの中村委員からのご意見でございましたが、「今後、新たな指標の追加も検討するべきではないか」というご意見を頂きましたが、こちらについては令和 9 年度からの新計画の策定の中で、皆様とご相談の上、検討してまいりたいと考えております。

おめくりいただきまして、2 ページ目をご覧ください。

こちらは項番 2 の「新しい 3 分野計画の策定に向けたアンケート調査について」でございます。こちらにつきましては、項番 1 のところで、従来 8,000 件を対象に実施させていただいたアンケートを 3,000 件に件数を減らして実施するという事で事務局からの方針をお示しさせていただきました。そちらについて分析に問題はないのかというご質問を頂きましたが、岩永会長からもコメントがございましたけれども、分析は可能ということで、基本的には 3,000 件で実施の方角で進めてまいりたいと思います。

続きまして、項番 4 になりますが、しぶや前委員から頂いたご意見になりますが、「アンケート実施の際には、調査票にアンケートの目的を記載してほしい」というご意見がありましたので、そちらは対応する方角で進めてまいりたいと思います。

3 ページ目をご覧ください。最後になります。項番 5 のところになりますが、アンケートの実施に際して、「外国籍の方ですとか、障がい者の方への配慮もしてほしい」というご意見を賜りました。こちらにつきましては、岩永会長から、外国籍の方ですとか障がい者の方、ご意見は大事ですけれども、通常のアンケート等ですと、なかなかお声を拾いづらい部分がございますので、例えばヒアリング、インタビュー、そういったものを検討してはどうかということでご意見を頂きましたので、こちら今後皆様と議論の上、検討してまいりたいと思います。

私からのご説明は以上となります。

■溝口部会長

ご説明ありがとうございました。

3 3 分野計画の評価について

■溝口部会長

続いて、次第 3 「3 分野計画の評価について」、事務局からご説明をお願いいたします。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

引き続きまして、私、大久保からご説明させていただきます。

私からは、まず評価の方法といいますか、全体像についてご説明させていただきます。その後、本日に検討いただきます具体的な令和 6 年度の実績の説明について、スポーツ振興課長の原田から個別にご説明させていただきます。

ここから少々ご説明にお時間を頂く形になりますが、ご容赦いただければと思います。

まず私からのご説明になりますけれども、資料 4 をご覧ください。A3 横のものになります。

こちらが今回と次回の部会の中で皆様に主に議論をいただく施策評価シートとなります。こちらは事前に紙ですとかメールでお送りもさせていただいたものになりますが、本日はこちらを基に意見交換をさせていただければと思います。

簡単にこちらのシートの見方をご説明させていただきたいと思います。

まず資料 4 の 1 ページ目になりますが、左上のところに、施策名 1-1 「子ども・成人・高齢者・障がい者が運動・スポーツを楽しむためのきっかけづくり」とございます。こちらが評価をして

いただく単位の施策の名称になるのですけれども、少しここで全体像をご紹介したいと思います。

お手元の「運動・スポーツ計画」の34ページ、35ページ、見開きでご確認いただいてもよろしいでしょうか。こちらが運動・スポーツ計画の全体像となっております。右側の35ページが施策1-1から3-2まで全部で6施策ございますけれども、この施策の単位で皆様には評価をしていただく形になります。

まず1-1から1-3までは、左のページをご覧いただきたいと思うのですが、柱1ということで「運動・スポーツを気軽に楽しむための機会づくり」、機会づくりに関連する事業等をまとめた部分になります。施策2-1は柱2「運動・スポーツの楽しみを深める場の提供」ということで、楽しむことに気づいた方が、それをさらに深める場の提供というような事業の塊となっております。施策3-1と3-2が柱3にひもづくものとなっております、こちらについては人材育成ですとか活躍の場の創出ということで、「支えるスポーツ」という言葉もあるかと思いますが、そちらに関連した事業をまとめたものとなっております。

施策評価シートに戻っていただきまして、1-1の施策シートをご覧ください。

皆様に行っていただく部分というのは、先に申し上げてしまいますと、こちらのA3横の右半分の中段のところに5番の「推進委員会による評価」という欄がございます。こちらは今まで空白になっておりますけれども、皆様から様々ご意見を頂いたものを文章化してここに記載をした上で、右上の四角のところに全体評価、達成度、方向性とありますけれども、こちらに5段階の評価を入れていただく形になります。出来上がりのイメージとしましては、その1つ上の4番のところに「庁内検討委員会による評価」という記載がありますけれども、ここにはあらかじめ文章が入っていて、数字も入っております。こちらについては区の内部の自己評価という形になっていまして、足立区役所としては施策1-1をこのように評価したという記載となっております。こちらをご参考にしていただきながら皆様にはご意見を頂きまして、最終的には5番の欄をまとめていただくという流れでご理解いただければと思います。

ご参照いただく場合に、4番の記載だけではなくて、ご覧いただきたいところが、左側の具体的な指標の達成度になります。2の「成果指標」というところに、1-1ですと2つ指標がございます。指標名①が「区民のスポーツ実施率」、指標名②が「イベント後に運動・スポーツへの意欲が向上した区民の割合」となっておりまして、今年度の評価につきましては、こちらのR6という欄をご覧ください形になります。具体的には、指標名①については、今年度は指標を取っておりませんので、数字が入っていない状況となっております。指標②については、令和6年度の実績値が90.5%、その下が106.5%となっておりますが、この106.5%というのは令和8年度の目標値に対する達成率となっておりまして、令和8年度の目標値は、その右側の85%というところになります。ですので、85%という目標値に対して令和6年度は既に90.5%という数値が出ていますので、既に目標を超えていることから106.5%と記載している形になります。

基本的には、ここの成果指標がどれぐらい達成できたかというところで皆様には評価をしていただくのですが、単に数字に表れない事業の実績等もありますので、そちらについては下の3の「担当部における評価」の辺りに、文章として「こういった事業を実施しました」などと書いておりますので、こちらも参考にいただきながらご議論をいただくという形となっております。

シートの見方につきましては以上になります。

私からもう1点だけご説明させていただきます。具体的に5段階の評価をつける際の評価基準

になりますけれども、資料 5-2 をご覧ください。こちらは A4 横のものとなっております。

実は先日実施しました読書部会でもご質問頂いたのですけれども、評価の点のつけ方ということで、端的に申し上げますと、絶対的な基準というものはございません。例えば目標値が何%を超えたら 4 点ですとか、何%を超えたら 5 点ということではなくて、ここに文章で書かれているようなものが基準となっております。例えば達成状況のところだと、5 点をつける場合には「優れた取組も多くて、実際に十分な成果も出ている」、そういった形で委員会のほうで評価をしていただけるようでしたら 5 点がつくという形になりますので、この辺りは皆さんによって基準も違うところがあるかと思うのですが、部会として議論していただく中で決定をしていただければと考えております。

仕組みのご説明は以上になります。この後、事業のご説明も含めますとちょっと長くなってしまいますので、一旦ここまでで何かご意見、ご質問等ありましたらいただければと思います。

私からのご説明は以上です。

■溝口部会長

ご説明ありがとうございました。とりわけ資料 4 のところを重点として、成果指標の指標名①の「区民のスポーツ実施率」と指標名②の「イベント後に運動・スポーツへの意欲が向上した区民の割合」というところを中心にお話しをいただきましたが、あとは評価体系ですね。5 段階評価というところではありますが、何かご質問、ご意見等ありますでしょうか。

■中村委員

中村です。評価シートの中の庁内検討委員会とありますが、構成メンバーと、その構成メンバーによって評価はどういう方法でされたのかというのをお聞きしたいのですけれども。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

事務局、大久保からコメントをさせていただきます。

庁内検討委員会については、区の要綱の中で、関係する部長級職員までを登録した評価委員会になっております。今回こちらの内容につきましては、担当する地域のちから推進部で庁内検討委員会に確認した上で出てきた評価という形になっております。

■溝口部会長

よろしいですか。

■中村委員

いまいち分からないのですけれども、庁内検討委員会はどういう構成になっているのですか。メンバー構成。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

メンバー構成ですと、具体的には要綱で定まっているのですけれども、庁内の評価を統括するのが政策経営部になりまして、そこのメンバーですとか、文化・読書・スポーツに関連する部ということだと、大きくは教育委員会の部ですとか、例えばスポーツですと「パークで筋トレ」という事業があつて都市建設部も関連していますし、健康ということだと衛生部も入っております。障がい者スポーツの関連でいうと福祉部も入っておりますので、そういった形で庁内の関連するメンバーが入っているのが庁内検討委員会の構成となっております。

■中村委員

事業に関係する部署が入っているということですか。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

おっしゃるとおりです。

■中村委員

分かりました。

■溝口部会長

よろしいでしょうか。

ほかに何かございますでしょうか。

私からちょっと。評価基準のところで、例えば委員さんがいらっしゃって、それぞれ点数をつけて合計で平均値というのではなくて、4か5か3かという形で出すということですよね。4.5とか4.8というのは、なしということですね。

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。部会長がおっしゃるとおりでございます。従来の評価方法ですと、皆さんがそれぞれ持ち寄っていただいた点数を平均点で割り算するということではなくて、あくまで5段階で。合議で決定していただくという形になっております。

■溝口部会長

端数はなしということですね。

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

端数はなしでやらせていただいております。

■溝口部会長

分かりました。ありがとうございます。ということですので、ここは皆さんと合議で決めていきたいと思います。

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。補足させていただきますと、実際に皆様からこういった形で点数をいただくかですけれども、本日の部会が終了しましたら、記入していただく様式を用意してお渡しさせていただきます。具体的には個表のようなものになっていまして、施策ごとにコメントを書いていただいたりとか、点数を5段階で入れていただくものがありますので、それを事務局で集約させていただいて、次回の部会でお示しをします。それを皆さんでご覧いただいた上で、最終的に意見調整していただくという流れを考えてございます。

■溝口部会長

ありがとうございます。ということですので、引き続き皆様のご協力のほど、よろしくお願いいたします。

今のお話を中村委員の質問も踏まえてまとめますと、4は自己採点ですよね。

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

おっしゃるとおりです。

■溝口部会長

なので、私たちの外部の評価で「じゃあ、どうなの？」というところを見極めるというか、外部評価というところで採点していくということになるかと思います。

ほかに何かございますでしょうか。

この後も説明があるようなので、引き続きお願いします。

■事務局（スポーツ振興課長）

続けて、スポーツ振興課の原田からご説明させていただきたいと思います。私からは施策の中

身について、かいつまんでにはなるのですけれども、ご説明させていただきたいと思っています。

資料 3 があるのですけれども、今回は説明を省略させていただくので、後ほどご覧いただければと思います。「活動指標管理表」というもので、個別の事業の活動状況とかを書いておりますので、後ほどご覧いただければと思います。

私からは資料 4 の施策評価シートの先ほどの項目のところについてお話できればと思っております。事業の内容とかも少し触れながらお話できればと思っております。

早速ですが、施策 1-1「子ども・成人・高齢者・障がい者が運動・スポーツを楽しむためのきっかけづくり」からお話しさせていただきます。

まず成果指標は、指標名①「区民のスポーツ実施率」というところで、令和 6 年度の調査はしていません。次回は令和 7 年度にアンケート調査をする予定でおります。

指標②の「イベント後に運動・スポーツへの意欲が向上した区民の割合」を当課のイベントの参加者アンケートで取っているところでありまして、こちらは 90.5%と目標値には届いておりませんが、かなり高い数字が出ておりますし、令和 5 年度を上回っております。

こちらの原因分析としまして、「パークで筋トレ」という事業があります。区内の公園で、自由に参加できて、対象は 65 歳以上ですけれども、筋トレというよりもストレッチ、公園で集まって皆で伸びをしたりとか、公園の周りを皆でぐるっと 1 周歩いたりとか、そういったことを 1 時間みっちりやるので、私も参加しましたけれども、結構疲れるというか、体を動かす事業でございます。

こちらについては、コロナも落ち着いて参加者が伸びてきているというところもあるのですけれども、昨年度新たに始めた取組がありまして、それが何かというと、「パークで筋トレ」は公園でやるのですけれども、どうしても冬場の参加者が減ってしまうのです、寒くなってくると。そのときに何とか人を集められないかというところで、冬に「パークで筋トレプレゼントキャンペーン」を昨年度行いました。チラシはこちらなのですけれども。何かというと、例えばお友達を連れてきてくれた人とか、初めて参加してくれた人に、こういうカードケースを差し上げておりまして、「パークで筋トレ」に参加するとカードがもらえるので、そのカードを入れてくださいというので差し上げるというキャンペーンが 1 つと、もう一つは、同じ場所で月に 2 回ほどやっているのですけれども、そこに 3 回参加した人にはガーゼの手拭いをプレゼントするという取組を行いまして、冬の参加者数が伸びているということが結果として出ました。

そういったところで参加者数を伸ばすことができましたというところが 1-1 でございまして、庁内評価の検討結果ですけれども、そういった企画のブラッシュアップは評価できるのではないかとということと、あとはウォーキングチャレンジといいまして、こちらは毎年秋ぐらいにやっているのですけれども、自分で 1 か月のうち 7 日間を決めて、その 7 日間は毎日 8,000 歩を歩きましょうという企画です。万歩計とかで 8,000 歩を数えて、それを記録して区のほうに申請すると抽選で何名かに足立区の野菜がもらえたりするというウォーキングチャレンジをやっていたりするので、その参加者数アップにつきましては、もう一工夫あったほうがいいんじゃないかなというご意見を頂いております。

今後の方向性についてですけれども、様々な年代の対象者に向けていろいろ工夫している部分は評価できるので、今後もニーズをキャッチして工夫をしていってほしいというところとか、あとは、これまでスポーツをしていない人へのきっかけということで、スポーツを入り口としない事業内容の工夫にも期待したいということが庁内評価ではありまして、数字としては達成度 4、

方向性 3、全体評価は 4 という結果でございました。

このような形で順次説明をさせていただきたいと思います。

続きまして、1-2「だれもが運動・スポーツを「する」「みる」機会の充実」でございます。

成果指標の①は「運動・スポーツを観戦した区民の割合」で、こちらも令和 3 年度に実施したアンケートで、数字で言うと 42.1%でございます。

指標名②が「区民のスポーツ実施率」。こちらは先ほどと同じでございますけれども、令和 3 年度で 35.2%。指標目③の「イベント後に運動・スポーツへの意欲が向上した区民の割合」が 91.5%でございます。

こちらも先ほどと同じように、コロナが明けてイベントの参加者が増えたことによって、皆さんのスポーツに対する意欲だったというのが上がっているのではないかなと分析しているところです。

あとは周知も積極的に行っていまして、チラシとかで PR したという中で、結果的に各事業の参加者が増えてきているので、そういったところを成果として書かせていただいております。例えばスポーツカーニバルというスポーツ協会さんと一緒になってやってもらっている事業ですけれども、総合スポーツセンターはもちろんですが、各学習センターとかと一緒にくっついている地域体育館などでも、スポーツの日に、もちろん団体とかと一緒にやらせていただいておりますけれども、スポーツの体験というか、そういうお祭りのようなイベントも参加者数が結構伸びておりますので、そういったところで多くの方に参加いただいているところと、あとは「みる」スポーツということで、最近スポーツ振興課でいろいろ力を入れてやっているところで、ヴェルディと連携して女子プロサッカーですとか男子サッカーの区民観戦デーとか、ここにはないですけども、昨年からヴェルディさんに協力いただいてバレーボールの観戦ですとか、そういったところを始めさせていただいております、いろいろな方に我々の取組に参加いただいているような状況です。

今後につきましては、今年もデフリンピック、世界陸上がありますけれども、そういったところも捉えて、皆さんがスポーツに親しみを持つきっかけですとか、そういったところをつくっていくことが大事なかなと思っております。

庁内評価の検討結果でございますけれども、区にゆかりがあるプロスポーツ選手だったり、スポーツチームだったりというところの連携で「みる」スポーツの機会の拡充ですとか、体験会ということができているというところで評価をいただいているところです。具体的にパリオリンピックの競歩のときにパブリックビューイングをやらせていただいて、ふだんスポーツをご覧にならない方とかも見ていただくきっかけにはなったのではないかなというところで評価をいただいているところでございます。

今後の方向性についてですけれども、国際大会が開かれることをきっかけに競技に関心を持ってもらうことが大切だということで、区民の関心の裾野を広げる活動に期待したいと書かせていただいております、達成度は 4、方向性は 3、全体評価は 4 でございます。

続けてまいります。1-3 でございます。「運動・スポーツに関する情報の効果的な情報発信」でございます。

成果指標の「運動・スポーツに関心がある区民の割合」は令和 3 年度が 69.9%、「運動・スポーツの機会の充実度」は 73%でございました。

達成度につきましては、区民の機会の充実度を評価されたと推察されるということで、ホーム

ページのアクセス数ですけれども、大きな増減自体ではなかったのですが、スポーツカーニバルですとか一部のイベントにつきましてはアクセス数が増えたりというところがありました。発行物の工夫ですが、デザインについてはシティプロモーション課と連携しながらチラシは作っているのですけれども、大きく変えたりはしないということをあえてしていて、継続的にずっと続いている事業なんだよというのを印象づけるような工夫をしながら PR を行っているところでございます。最終的に一つの媒体に限らない多角的な発信が大事なかなと思っていますので、そこらは続けてまいりたいと思います。

いろいろな競技があるので、一人一人がどういうスポーツに関心があるかということも変わってくると思うので、なるべく広く様々な競技を紹介できるきっかけになればなと思っています。

庁内検討委員会による評価でございます。現在のホームページのアクセス数ですが、コロナ期間中は施設の休館確認でアクセス数は多かったのですけれども、それに比べても伸びているというところで評価できるということと、ホームページの情報発信をきっかけに運動・スポーツの楽しさを伝えられる工夫は今後も期待したいということがありました。また、小中学生のアプローチがチラシから C4th Home&School という Web 上を使った情報発信に変わっていくので、子どもが直接持ち帰る情報ではなくて、保護者のフィルターがかかることを前提に発信の内容やタイミングの工夫をしたほうがいいんじゃないかという評価になっております。評価自体は、達成度 3、方向性 3、全体評価も 3 でございました。

続きまして、施策 2-1「身近な場所における運動・スポーツの推進」でございます。こちらの成果指標は「身近な場で運動・スポーツを行う区民の割合」が、6 年度は 70.0%、指標名②の「よく行く、行きたい公園がある区民の割合」が 50.2% でございました。どちらも目標値は下回っております。要因としては、自宅や職場とか身近な場所でスポーツに取り組んでいる区民の割合が 70% と目標を下回っているのですけれども、ただ 4 年度から横ばいというのは続いているので、ある程度の定着はあるのかなとは思っております。

また、年代に応じて身近な場所であるという事業でいいますと、先ほど申し上げた「パークで筋トレ」につきましては、今 40 か所で行っておりますので、区の至るところで実施できるような身近で参加できる場の提供にはなっているかなと思っています。

あとは区スポーツ施設における「スポーツ広場」、いわゆる区施設を個人利用という形で、個人が 1 回 200 円とかお金を払って区の体育館とかを利用できるようなものに近いのですけれども、個人利用プラス競技をやられている連盟の方とかが指導員として入っていただいてサポートしていただけるというのが「スポーツ広場」の取組ですけれども、こういったことをスポーツ施設の至るところでやっていますので、そういったところに参加いただいたりということで、運動・スポーツのきっかけとなる場の提供をやらせていただいております。

あとは総合型地域クラブです。各地域クラブに区の委託事業をやっていただいております。足立区には 9 つの総合型地域クラブがありますので、そういったところで様々なスポーツ教室をやっていただいているところでございます。

短期の取組につきましては、施設に頼らない場の提供ということも工夫が必要ではないかなと思っています。情報発信も積極的にやっていきたいと思っておりますし、区主催でも民間企業と連携したりとか、新しい風みみたいなものを取り入れながら、どのような体験がいいのか、どのような事業がいいのかというのは常に情報収集しながら実施してまいりたいと思っております。

一方で、場の提供という意味では、施設の老朽化というところで、総合スポーツセンターなど

は大分古くなってきておりますし、改修が必要な時期には来ているので、そういったところは保守点検とか日常の管理をしっかりとやらせていただいて維持していくことを我々としてはやっていくところです。もちろん更新についても計画等を進めていきますけれども、まずは日常管理をしっかりとやっていきたいなと思っております。

庁内検討委員会につきましては、各地域学習センターでも「ちょいスポ」という形で気軽にできる簡単なスポーツをやっていただいたりしているのですけれども、そういったところはハードルが低くて誰でも参加しやすくなっているのかと思っていますので、きっかけづくりができていくのかなと思っています。

それと関連するのですけれども、スポーツ施設という場に捉われずに、「パークで筋トレ」の公園もそうですけれども、まさに「ちょいスポ」は体育館ではなくて学習室で簡単な運動をやったりしているので、そういったいろいろなところでやっていることを評価いただいているところでございます。

今後の方向性については、施設の老朽化の保守とか管理方法の確立が大切ですよというところですか、民間事業者へのアプローチというのがあるのですけれども、昨年度はウォーキングチャレンジで毎日 8,000 歩を歩くというものを、団体申込みみたいなものを昨年度はやりました。事業者単位でウォーキングチャレンジに挑戦して、その結果を報告してもらいたいなこともやってもらったりしたのですけれども、民間事業者にアプローチして「よかったらやっていただけませんか」みたいなことで参加いただいたこともありますので、そういった方向性も評価いただいているところでございます。数字ですと、達成度 5、方向性 3、全体評価 4 でございました。

続きまして、3-1 でございます。「運動・スポーツをささえる組織の支援と連携強化」でございます。「関係団体との連携事業の実施回数」ですけれども、6 年度は 22 回と目標値を下回っております。また、「区民のスポーツ実施率」については、再掲でございますが、令和 3 年度は 35.2% でございました。

こちらは区民観戦デーにつきまして拡充して開催いたしました。先ほど申し上げたように、バレーボールを新たに始めたりですとか、それ以外でも区民観戦デーは、ヴェルディさんにサッカー観戦デーをやっていただいたり、バレーボール、バスケットボール等々、いろいろやらせていただいております。一方で目標に達していない部分もあります。

また、スポーツ推進員さんが、コロナ明けで様々な地域の要望を受けて体験教室を行ったり、体力測定も積極的にスポーツ推進員さんがやっていただいているので、そうやって地域の中に入っていった様々な活動をして定着しているところも一方ではございます。

また、スポーツ協会加盟団体さんの支援で、後援承認等を行って支援等もやっておりますので、地域活動支援はコロナ禍で大分落ち込んだ部分はありますけれども、徐々に戻っているところでございます。

短期の取組では、パラスポーツ推進協議会を立ち上げて先日も開催いたしましたけれども、いろいろな議論をしながら、関係各所で連携しながら足立区のスポーツの取組は進めていきたいなと思っております。

庁内検討委員会の評価でございます。スポーツ推進員会やスポーツ協会加盟団体とか地域で活動する人材を中心に、スポーツを定期的に身近な場所で行える状態を保つ取組が組織的に行われているところは評価いただいているところです。

また、町会・自治会等でアウトリーチ、出かけて行って、そこで取組や事業をやるということ

ですけれども、そういったところも今後も期待していただいているというところでございます。

今後の方向性についてですけれども、民間団体にまで連携を広げて区民のスポーツの機会の拡充に取り組むという方向は評価いただいているところと、団体が果たす役割を意識した活動につながることを期待するというご意見を頂いておりますして、達成度 3、方向性 3、全体評価 3 でした。

長くなりましたけれども、最後でございます。3-2「運動・スポーツをささえる人材の育成とマッチング」でございます。成果指標は「運動・スポーツをささえる活動を行った区民の割合」で、令和 3 年度は 11.4% でした。

指標名②「スポーツボランティアの地域イベントへの協力人数」は 584 名と、5 年度より上回っておりますけれども、まだ目標値には届いていないところでございます。

コロナ以降、イベントが再開している中で、ボランティアで協力していただいている方もいらっしゃるのですが、人材が固定化してしまっているという課題もあります。参加いただいている方ですとか、パラスポーツでいうと普及指導員などの資格の講座もうちのほうでやっているのですが、毎年受講いただいている方はいるのですが、もともとスポーツ推進員でボランティアをやっている方だったりもするので、母数としてはそこまで増えていないかなという課題感があります。

その他実績として、学校訪問型パラ体験授業があるのですが、こちらは 5 年度から実施しておりまして、足立区の全部の小学校を回ってパラの競技を子供たちに体験して知っていただいたり、障がい者理解につなげていくという事業もやっております。

また、人材育成の研修は、スポーツ協会さん中心にやっていた研修会等もありますので、そういったところでスポーツに携わる皆様のスキルアップには取り組んでいるところでございます。もちろん人材育成は大事なのですが、それと一緒に、スキルを身に着けた方が足立区で活躍していただける場をつくるというのも我々の非常に大事なところかなと思っていますので、両方頑張っていきたいなと思っております。

庁内検討委員会による評価でございます。支える人材に対して、多くの研修や講習会に参加してもらうような工夫をしてスキルアップに努めていることを評価していただいております。また、指導者とボランティアといった役割の違いによって対応できる内容を明確にし、支える活動に参加しやすい工夫を期待されております。

今後の方向性につきましては、より安全に運動・スポーツの指導ですとか、スポーツを支えるためのスキルを身につけられる仕組みを工夫してほしいというところと、区以外の都内で行われているスポーツイベントなどへ参加してキャリアを積む区民もいると思われるため、幅広く区の情報以外にも情報発信してほしいというご意見を頂いております。評価ですが、達成度 4、方向性 3、全体評価 4 でございます。

駆け足で一通り説明させていただきましたけれども、政策評価のご説明は以上でございます。

■溝口部会長

ご説明ありがとうございました。

時間を取って丁寧にご説明していただきましたけれども、今の説明でご質問があるでしょうか。この後、お一人ずつご意見を賜りたいと思っておりますけれども、大丈夫でしょうか。

私から 1 個、質問というか、誤植かなと思ったところがありました。施策の柱の 3、1 の「施策の方向性」のところ、「体育協会」ですけれども、今「スポーツ協会」に全て変わったので、

ここだけ。

■事務局（スポーツ振興課長）

申し訳ございません。

■溝口部会長

スポーツ協会だなと思いますので、お願いします。

ほかに大丈夫でしょうか。

■中村委員

意見交換の前に若干質問があるのですが、施策評価シートの 1 枚についてこちらの明細が、例えば 1-1 の評価シートは、事業は 29 ありますから、その 29 の全体を見ながら評価をするということになりますよね。そういう認識でよろしいのでしょうか。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。もちろん事業の中身を見ていただいているのは中村委員がおっしゃるとおりです。基本的には、点数をつけていただく際の一つの基準は、成果指標の達成度で見ていただきたいということはございます。ただ、成果指標の達成度だけでは判断できない部分等ございますので、ぶら下がる事業の実際の細かい内容についても確認をしていただく。活動指標管理表については、今日は触れさせていただかなかったのですが、5 月 26 日の会議のときに配った内容と同じものですので、事前にお読みいただいていたものがあれば、それを踏まえて活動指標管理表についてもご質問は頂ければと思っております。

■中村委員

もう 1 点ですが、1-1 の指標名②「イベント後に運動・スポーツへの意欲が向上した区民の割合」で、「スポーツ振興課所管イベントの参加者アンケート」とありますけれども、具体的にどんなイベントに参加した人からアンケートを取られたのでしょうか。

■事務局（スポーツ振興係長）

こちらはパーク、ウォーキングもありますし、ウォーキング教室もあります。全ての事業で必ずアンケートは取っています。

■中村委員

ということは、フラットな形でのアンケートではなくて、イベントに参加している人は、「パークで筋トレ」に興味がある、あるいはウォーキングに興味がある。何らかのスポーツに意欲が多少あるような人をベーシックにした中でのアンケートになりますから、区民全体での割合ということではなくてということですよ。スポーツをやりたいというところにバイアスがかかった中でのアンケートになっているのでウエートが高くなると思うのですが、その辺はどうなのでしょうか。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。中村委員がご指摘の点もあるかと思えます。そのところは事務局も認識しておりまして、全くフラットに取るアンケートよりも目標値は高めには設定させていただいているところでございます。これは計画が通り始めたときから始まったのですが、30 年度の段階で 70%ありましたので目標値を 85%ということで、全くフラットに聞いたら多分こんなに高い数字は出ないと思うのですが、そちらも踏まえて設定はしているところでございます。

■中村委員

分かりました。

■溝口部会長

ありがとうございます。

ほかに大丈夫でしょうか。伊藤委員、お願いします。

■伊藤委員

ちょっと教えてもらいたいですけれども、指標 1 というのが何ページかにわたってあるのですが、「令和3年度実施」と書いてあって、4、5、6と書いてないですね。何でこれが抜けているのですか。

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。こちらは文化・読書・スポーツのアンケートという全区的に取っているもので、3年に1回だけ実施していきまして、毎年取れていない指標ということで、このところは大変申し訳ないのですけれども、ちょっと数字が出せていない。こちらのアンケートは7年度の秋に実施させていただく形になりますので、ここで実績値が出てくる形にはなりません。申し訳ございません。

■溝口部会長

ありがとうございます。

そのほかご質問はございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

それでは、今の説明を踏まえてご意見を賜りたいと思いますけれども、田中ひろ子会長が用事でご退室されるということで、トップバッターでご意見を賜りたいと思います。よろしくお願いします。

■田中委員

思っていたより全てにおいて数字が高いなという感じはしました。コロナの時代があって、いろいろなものが自粛されていて、運動したいけれども何をしたらいいか分からないとか、その間に高齢化がちょっと進んだりとか、いろいろなバランスがある中では、私が感じていたよりは全てにおいて皆さんの意識が高いんだなという感じに捉えました。何かに参加したいという人が多い、それをどういうふうに拾っていけるのかなというところなのかなと思いましたけれども。

■溝口部会長

もしよかったら、庁内検討委員会の評価とかを読んでみて、スポーツ協会さんなので、関連の方から見て、どういう感じで捉えているのかなというご意見を賜れば。

■田中委員

正直言って、ここに書かれていることとは、若干ずれは言ってしまう。感じますけれども、全てのイベントを割と見聞きしている中では、確かにこういう文章だけでいくと、やはり違うじゃないですかというところはあるのですけれども、全てが全て網羅されてここに出ているわけではないので、もしかしたら私たちが考えるものとは若干違ってくる可能性はあるのかなとは思っています。

■溝口部会長

ありがとうございます。この後ご退室されるので、それも踏まえて、若干のずれというか、その感じるところで、次回アンケートを取るとしたら、こういう質問の仕方だと、イベントに参加しているというターゲット層がちょっと違うんじゃないかだったり、だったらその層の違う見方でアプローチの仕方があったりとか、スポーツ協会さんは支えるほうのボランティアのところでのアンケートの取り方とか。

■田中委員

前よりも、アンケートの取り方も細かくちゃんと考えてくれているのですね、現実には。皆さんから割と返事が来るような感じでは、毎年工夫がされているなとは思っているのと、参加した人たちは、アンケートに答えたら何かくれたりするんですよ。アンケートに答えた人にこれをあげるよとか、それが欲しいからというよりは、正直なアンケートは出しているような気がするのですね。そのイベントによって何を取りたいかというのは、それぞれ考えた上でのアンケートはつくってくれていると思っています。アンケートの回収率が昔よりはずっと上がっているような気はしています。

■溝口部会長

ありがとうございます。評価が第三者から見ると違うというところでは、今後、推進委員の私たちの評価というのが、全体像が見えてくるレビューというか評価になると思うので、そういったところもご忌憚なく記述していただきたいなとお願いしたいと思います。ありがとうございます。

伊藤のぶゆき委員は初めてなので、後がいいですか、先がいいですか。

■伊藤委員

後がいいです。

■溝口部会長

分かりました。

では、中村委員、お願いします。

■中村委員

文化・読書・スポーツ総合推進委員会というのが、平成 30 年……

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

平成 30 年から令和元年にかけて 2 年間やらせていただきました。

■中村委員

その公募委員をやらせていただいています、これが前の推進計画ですけれども、そのときに思ったのが、公募委員が関わったのは文化・読書・スポーツの委員とか、「今後の人生 100 年時代を生き抜くために」というところで、理念のところはやりました、公募委員も入って。ただ、具体的な施策については、候補委員は関与していなくて、私、これをもらってからどういう事業があったのかなと見たのですけれども、従来どおりの施策が 11、新規が 3、拡充は 9、ほとんど従来どおりの施策だったのですね。それで本当にいいのかというのがずっと思っていました、たまたま今回、評価をするということがあったので、当初メンバーだったのでぜひやらせていただきたいということで手を挙げたのですけれども、今回の評価をした後も、従来からやっている施策が本当に正しいのかどうかという総括をきちっとしていただいて、スクラップ・アンド・ビルドじゃないですけれども、そういうふうな形で考えてもいいのかなとは思っているのですけれども。この事業をざっと全部見ました。収束するようなものも書いてありましたけれども、そういった観点でも必要なのかなというふうに私は思っています。

たまたま私、足立区の区民評価委員会もやっております、今 3 年目なのですけれども、「パークで筋トレ」は今回 3 回目になるのですね、評価をするのが、初年度から。例えば「パークで筋トレ」については延べ人数でやっているの、会場を増やすとか回数が増えれば当然回数は増えるのですね。3 年前から新規参加者を増やして裾野を広げましょう、そのための手当てをしてく

ださいというふうに言っていたのですけれども、なかなかそれができていない。

ところが、活動指標管理表を見ると10分の3ですね。括弧内は新規参加者数。新規参加者数は把握できていると思うのですけれども、その辺のところはどうなのでしょう。区民評価委員会のほうでは新規参加者が出ていないんですけれども、ここには出ているんです。ここに出ている数字って本当に正しい数字なのかどうか。

■事務局（スポーツ振興課長）

初めて参加していただいた方にカードをお渡しするのです。その渡した数とかで、ある程度の人数は算定できる部分はあるんですけれども、もらわないで遠くから一緒に参加して下さっている方かも知るので、正確かどうかと言われると、なかなか難しいところはありますけれども、数字としてはこちらが出しているものにはなります。

■中村委員

そうすると正確な数字が把握できないとなると、評価の仕方も……

■事務局（スポーツ振興課長）

将来的には福祉のほうで使っているアプリがあったりして、それとうまく連動できないかなというのは、今、所管課のほうでは考えているので、新規参加者というのは私たちも増やしたいところでは当然あるので、そういったところで把握はしたいなと思っております。

■中村委員

「パークで筋トレ」に私も参加したことがありますて、1時間やるんですよ。高齢者にとってはいい運動になるので、これは続けていただきたいと思うのですけれども、評価の段階においては、新規参加者数をきちっと把握していただきたいということですね。カードは私も持っていますけれども、そのカードを配った枚数を管理すれば、それで済むので、それをきちっとやっていただければというふうに思います。

「脳活ラボ」というのは今年度から始まったやつですよ、「あだち脳活ラボ」。私もアプリを落とし込んでやっていますけれども、これは非常に有効なので、医療系も含めスポーツも、それから福祉も全部活用できるのではないかと思いますので、裾野が広いと思います。ただ、どのくらい今アプリを落とし込んで活用しているのかというのが見えてこないのので何とも言えないのですけれども、その点もうまく活用しながらやっていく必要はあるのかなと個人的には思っています。

■溝口部会長

ありがとうございました。

木村委員、お願いいたします。

■木村委員

ご説明いろいろありがとうございました。いろいろとお話を聞かせていただいて、私自身、スポーツをまだ現役でやっておりますて、実際にスポーツの現場みたいところに結構いることもあるので、この委員会にいてこと自体ちょっと不思議な気持ち、評価する側に入るのもちょっと不思議な気持ちではいるのですけれども、その中でちょっと気になっているところが何点かあって、例えば先ほど田中ひろ子委員からありましたけれども、現場の感じ方と今出ている数字の乖離があるというところは僕もやはり感じているところがありまして、そこって何で起きているんだろうというところは、何かちょっとずれているのかなと田中ひろ子委員がおっしゃっていたところは私も気になっておりまして、そこというのは、アンケートの取り方はもちろんそうだと

思いますし、数字を把握し切れていない、現場の意見だったり、課題感とかというのは、この数字に表れていないところであるんじゃないかなというのは私自身感じています。

今回、全体評価をさせていただくのかなと思うのですけれども、例えばですけれども、この数字を見る限りで言うと、90%であったりとか、少なくとも 50%あったり、50%はちょっと少ないほうなのかな。とはいえ大体が 73%以上だったりとか、基本的には達成度はかなり高いのかなというふうに数字だけで見ると判断はできます。我々外部委員からすると、この数字と庁内委員の評価というのを総合的に鑑みた上で評価するという形になってくるのかなと考えたときに、達成度は正直これ以上、これだけ見る限りは 4 以上であろうというのは僕の中では感じてしまうところがある。先ほどあった田中ひろ子委員の、それこそスポーツ協会の会長さんがおっしゃっているような現場感みたいなのは、もう少し感じた上での達成度というのは、現場の人たちの意見をもう少し聞きたいというところは外部評価としてする上で重要になるのかなと感じています。

その上で、方向性なのですけれども、今ご説明していただいたシートに幾つか黄色マーカーをしながら見ていたのですけれども、漠然とした内容が多い。例えばですけれども、最初の「運動やスポーツに取り組めていない方へのアプローチ方法やきっかけづくりに注力する」、それはすごくいいことだと思うんですね。それって実際どういうきっかけづくりなんだろうと。例えばパーク事業とかウォーキングチャレンジはすごくすてきな施策だと思いますし、実際に評価を上げていращやる。それをブラッシュアップしていっているところがあると思うのですけれども、このターゲット層が 65 歳以上でしたよね、このイベントは。社会人を取り入れたいみたいなことがどこかに書いてあった気がするのですけれども、今見失ってしまったのですが。社会人の方にもスポーツを取り込んでいきたいというふうに記載されている箇所があって、そのときに例えばウォーキングチャレンジだったりとか、「パークで筋トレ」というのは対象にならないと。

■事務局（スポーツ振興課長）

ウォーキングチャレンジは全年齢です。

■木村委員

じゃあ「パークで筋トレ」はならないということですね。すみません、失礼しました。そういったところで、そこについてのアプローチみたいなものは、実際にどういうふうに考えているのか。新しいものって何なのだろうというところが、今頂いている資料のみではちょっと把握し切れていないので、そこもちょっと提示していただけると評価もしやすいのかなと思っています。

ほかにもいろいろとマークはつけさせていただいているので、例えば今年でいうとデフリンピックが東京で行われますと。そこでパブリックビューイングなどの実施とかも多分するのか、分からないのですけれども、足立にゆかりのあるデフアスリートみたいな方がいращやって、その方のためのパブリックビューイングとかする予定があるのか。そこら辺とかも分からないのですけれども、例えばそういう計画もあるのかなと思わせるような文章ではあるのですけれども、正直、本当にあるのかないのか。そこが重要で、実際言うと。具体的にどういうふうに落とし込んでいくのか。要するに方向性というところが、実際にそこまで具体的に意識してやっているのかというところが、これだけだと全部すごく体のいい言葉に聞こえてしまっている状態です。なので、実際にどこまで本当にやるのか、落とし込むのかというところは、正直もうちょっと知りたいなというところで意見を述べさせていただければと思います。

それが分かってくると、例えば私もパラのほうに携わっている、さらに現場にもいる立場として、もっと具体的に方向性の話、評価とかもできるのかなと思いますし、正直この方向性とかだ

けで見ると、よくあるというか、これだけで言うと、絶対に 4 以上取れるような文言になっているのですよ。すばらしいなと思うのですけれども、そこら辺まで見た上でのちゃんとした方向性が見いだせるようなところがあればいいなというのは、すみません、現場の私なのですから、そういったところを感じましたので意見として出させていただければと思います。

以上です。

■溝口部会長

ありがとうございました。

■事務局（スポーツ振興課長）

スポーツ振興課の原田です。ご意見頂いたデフリンピックの話だけさせていただきたいと思います。今考えているのがデフアスリートで足立区にゆかりのある方がいらっしゃって、東京武道館で柔道と空手をやるのですけれども、足立区出身の空手で内定されている湯澤選手という方がいらっしゃるので、パブリックビューイングではなくて、完全無料なので、東京都と調整して何とか足立区の席をもらえないかみたいなことを東京都とやり取りしているというのが今の状況です。

■木村委員

ありがとうございます。無料観戦ということですね。

■事務局（スポーツ振興課長）

はい。もともと無料で誰でも入れる状態ではあるのですけれども。

■溝口部会長

具体的な提案も頂きましてありがとうございます。

それでは、お初の伊藤のぶゆき委員、お願いいたします。

■伊藤委員

伊藤です。私、初めてなので全てがつかみ切れていないという感じで聞いていたのですけれども、先ほどの木村委員とか田中委員の発言が、なかなか大事なところなんじゃないのかなと。行政的に出しがちな雰囲気だけでも、実際に現場とのあれが乖離しているというのが大前提としてよくないんじゃないのかなと思って、やはり現場でやっている方々の意見を聞いて、アンケートの取り方を含めて、もう一度検討するべきなんじゃないのかなという感じが個人的にはしております。達成率とかが大事なのではなくて、実際に運動に興味を持ったりする方が増えていくことが多分区にとって大事なことだと思いますので、数字だけとか、達成率とかにこだわることなく、それを恐れることなく、新しい取組をしていくべきなんじゃないのかなというのは聞いていて思いました。

それと、推進計画とかにも書いてありますけれども、年代によってスポーツというものに対しての捉え方が大きく変わってくると思うんですよね。今、高齢者の方々は「パークで筋トレ」とかウォーキングということがスポーツになっていくのでしょうし、子どもたちにとってみれば、もっともっと体を動かすことが多分スポーツになっていくと思うので、ここにも書いてありますけれども、子どもがスポーツに関わっていく環境というのは、もうちょっと施策的に増やしてもいいのかなというのが個人的な意見でございます。

ちょっと 1 点気になったのが、庁内検討委員会の評価ですけれども、いろいろな評価をされているからいいのですが、この中の方向性というものが項目に入っているのですが、この方向性というものが入っている意味があるのかなと。さっき説明をもらった評価基準というものになってい

くと、どこまで行っても方向性というのが 3 しかないのかなと思うと、どの意味で方向性というものが評価に入っているのかというのが分からなくて、指標がないから評価基準を出したということでこの文字になってきて、そうすると当然方向性は 3 になるということになってしまうと思うので、達成度とか全体評価が 3 とか 4 とか 5 というのは分かるのですが、方向性がオール 3 になってくると、私たち推進委員会による評価を出せと言われても、当然この方向性って 3 になると思うんですけども、どう考えてこの方向性というものが入っているのかなというのが見えていて思いましたが、どういうことでこの方向性が入っているのか、それをお聞かせいただけたらうれしいなと思います。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

事務局、大久保です。まず 1 点目としての評価に方向性を設けたところで言いますと、足立区の中で行っている評価の仕組みをベースにさせていただいたところがあります。中村委員からご発言がありました区民評価の仕組みですとか、事務事業評価の仕組みというのが足立区では定着しているのですが、この文化・読書・スポーツの評価の仕組みも、それを一定程度踏襲しているところがありまして、その基準として達成度とか方向性というのは横引きしているところが、そもそも設定した実情ではございます。

そこが 3 でずっとなってしまったところというのは、我々も正直反省点になっているところでして、方向性としてそれほど新しいものが打ち出せていないということが基準どおりの 3 というところなのかなとは認識しておりますので、その辺りも含めて委員会のほうでは評価をしていただければと思います。例えば先ほど木村委員から具体的なものがちょっと少ないといったご指摘もあったかと思いますが、方向性としてはいいけれども、具体的なものが乏しいというご意見もあるかと思いますが、その辺りは区が方向性として 3 にとどまってしまっているところも評価の対象としていただければというふうには考えております。

■伊藤委員

もう 1 点、先ほど聞いたときに、令和 3 年度から実施していなくて、3 年ごとという話があるじゃないですか。何で 3 年ごとにこのアンケートを取っているのかというのが私には分からなくて、これを見ていると、週に 1 日以上実施している方の割合とか、例えば 1 年間でスポーツを観戦した方の割合というのが、ほかのアンケートを毎年取っているのであれば連動して一緒に取ってもいいのかなと思うのですが、週に 1 日以上実施している方なんていうのは、どれだけ増えていくのかというのが逆に欲しい数字じゃないのかなと感じるのですが、そのために多分こういうスポーツの部会をつくって、皆さんに運動してもらいましょうという話を進めている中で、何でこれが 3 年に 1 回なのかなというのが分からないのですよね。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。理由としましては 2 点ございます。

1 点目が、当初、計画をつくったときに大きなところの成果指標、区民の意識の変化というものと、恐らく毎年取っても 1 年ごとの大きな変化というのはないだろう。多分 3 年ぐらい、中期的に取ったほうが、変化が出てくるだろうということで 3 年に一度とさせていただきました。

この 3 年というのが、もう一つありまして、計画は 6 年間だったのですね。その中間で 3 年、3 年で取ろうというところで 3 年というふうに設定したところもありますので、大きくこの 2 点の理由で 3 年に一度という形で取らせていただいたということにはなっております。

■伊藤委員

これ以上あまり言うのもあれですけども、アンケートの取り方に結構問題があるのかなというのは、ざっくり聞いていると思いましたので。中村委員がおっしゃっているように、運動されている方々にアンケートを取れば、運動しに来ているのだから意識は高いよねという話になってくるので、逆に「パークで筋トレ」をされない高齢者の方々が多くいらっしゃると思うし、中間世代の人たちで運動されていない方々も多分多くいらっしゃる中で、その方たちにアンケートというのは多分行かないとなってくると、実質の数字というのが一体どれぐらいというのがあって、そっちを逆に知りたいですよ。それが分からないと、どうやって区民の方々にスポーツに興味を持ってもらうのかというのが分かりにくいんじゃないのかなと思う部分があるので。私も初めてで、皆さんのご意見を聞きながら、過去の議事録を読んでいるわけじゃないので、ひょっとしたらそういうのが対応されているのかもしれないですけども、アンケートの中身というか、対象者というのを、いま一度考えるべきなのかなというのは聞いていて思いました。

以上です。

■溝口部会長

ご発言ありがとうございます。

全員の委員からご意見を頂いて、ちょっとまとめると、庁内検討委員会と現場の方々だと乖離があるんじゃないかというところは、次のテーマにもなってくるのです。そのギャップをどうやって埋めていくかというところのご意見は、次のテーマでお伺いしたいなというところがありました。

あと、私が気になったところがあります。施策 1-3、広報のところだと思います。「運動・スポーツの楽しみを深める場の提供」で、効果的な発信でホームページのアクセスが非常に増加したというところですけども、このホームページというところが、今はむしろインスタだったり、SNS というところも網羅していったほうが、ターゲット層が、ホームページだと広く一般的かもしれないのですけども、若い世代とか、50 歳ぐらいは逆にフェイスブックがすごく多いとか、情報の取り方が年代ごとに違うので、今後の発信力の拡充というところでは、ホームページだけではなく、SNS のアカウント数とかフォロワー数を拾っていくのも経年的に見えるのかなとは思いました。新たな視点になっていくかなというところでは思いました。

あとは、足立区はスポーツ施設が多いので指定管理者との連携というところも、施策の柱 2 になると思うのですけども、「スポーツ広場」とかもそうなのですが、その人たちとどうやって連携していくかというのが、この評価ではあまり見えないところがあるので、もうちょっと聞きたいなと。指定管理者だったり、関連の人たちがもっと入り込んで、ハードの部分での関りというのは多いと思うのですけども、ソフトの部分で自主事業だったり、そういうところで何かやってもらえないのかなというのは、関係者をどんどん増やしていくというところで、もっとポテンシャルはあるんじゃないかなと思いました。サポーターのところに、たしか 525 人ですかね、最後のページであったと思うのですけども、足立区の人数にしてはとても少ないんじゃないかなというところ、まだまだそういったところではボランティアのポテンシャルが……。それにはイベントもぽつぽつ増やしていかなければいけないのかなというのは、つながり方ですよ、ネットワークをつくっていく。中村委員がおっしゃっていた、来ている人だけというのは推し活みたいになって、ファンばかりになっていくところがあるので、最初のほうのアンケートで、取り組むことにハードルを感じている方という庁内委員会のところもあって、今後もしかしたら、その層はアンケートを取れるのか、冒頭おっしゃっていたのですけども、聞き取り、もしくは

当事者の田中会長みたいところで、ギャップがあるというところをインタビューで拾っていくという方法が、より量と質というところを複合的、総合的に評価の指標になっていくんじゃないかなというのとも思いました。これを見ちゃうと、数字が独り歩きしちゃうところが委員の皆様の総意だと思いますので、そこはしっかり評価できるようにしたいなと思います。

もう一つです。評価体系のところで、資料 5-1 だと思うのですが、1 次の指標と 2 次の庁内検討委員さんが入っちゃうことで、部長さんクラスの自己評価とちょっと違うと思うのですね。1 次のところの評価というのが、ここでは A～E とかは出ていないですよ。公表していないですよ、A～E の達成度とか。

■中村委員

それはここに……

■溝口部会長

すみません。そっちを見ればいいんですね。失礼しました。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

事務局、大久保です。この A～E については明確に基準が決まっております、シートの左上の表の欄外のところですが、目標に対して 80% 以達成していれば A、60～80 ですと B という形で、目標値と実績値については、ちょっと分かりづらいのですが、A3 の真ん中ぐらいの列のところ R6 目標値と R6 実績値。R6 実績値は網かけになっているのですが、この実績値が目標値に対して高い達成度であれば A がつく。中には実施できなかった事業もありまして、それは「×」がついているという状況です。

■溝口部会長

ご説明ありがとうございました。すみません、ここを見落としていました。A と B という評価が、5 か 4 という感じで見ていいのか分からないですけれども、非常に高い形で。指標がここではすごく明確になっているというところでは、目標値を基準にしているというところで、今分かったのですけれども、外部の人たちから見ると、目標値のそもそもの設定の意識が違うというところでギャップが生まれているのかなというのは、これで理解できました。そもそもの目標値の設定の仕方が、適切といったらあれなのですけれども、外部の方——市民なのか区民なのか——の思っているところの達成度なのか、現場レベルで現実的にこれぐらいなんじゃないかというところの、そのギャップもあるのかな、目標値の設定というところですよ。そこも今後検討というか、もっと高くてもいいんじゃないかと先ほどどなたかが言っていたかもしれないのですけれども、その点が議論できる場が、こういう場になってくると思うのですけれども、その点についても皆様から今後ご意見を頂きたいなと。もっと上げようよというのもありかと思います。

よろしいでしょうか。ほかに何かございますでしょうか。

■中村委員

すみません、1 点だけ。現在の達成状況の要因分析のところですが、要因分析をした後に今後の方向性にすんと飛んじやっているのですけれども、その間に、何でこうなったのかという課題の分析があつてしかるべきかなと思うのですね。課題の分析があつてこそ今後の方向性があるので、よかったこと・悪かったことも含めて課題を分析していただいて、その後、方向性に飛んでいくのであればいいのですけれども、すんと先のほうへ行っちゃっているんです。今後の方向性というのは、実際にやっていないことを書かれるわけですね。それを評価しろというのは多分できないと思うので、重要なポイントは、要因分析の中に課題分析をきちんとして、その

課題を克服するためにどういう施策を打っていくのか。今までのやり方をどう変えていくのか、あるいはどう継続していくのか、そういうのがあってしかるべきなのかなというふうに私は思います。

■溝口部会長

ありがとうございます。今のご提言も踏まえて再度事務局のほうでご検討いただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

■木村委員

先ほど具体的にいろいろとご提案させていただいたのですけれども、その中でもう 1 点、私のほうでご提案させていただきたいのが、僕が足立区の方にこのお仕事を依頼していただいたときにすてきなと感じたのが、文化・読書・スポーツの三位一体でやるということがすごくすてきな座組でされているんだと、これは足立区のすごい武器だというふうに感じていて、例えば先ほどのアンケート一つにしても、文化のほうのイベントでスポーツのアンケートも取るとか、一体の委員会だからこそ工夫してやれることってあるんじゃないかと感じていて、今後の方向性になくてちょっと残念だったのが、文化・読書との融合性がある方向性みたいなものが全部スポーツに寄っているというか、ザ・スポーツという感じの方向性のものが多いので、文化・読書ともうちょっと連携したような、足立区だからこそみたいなスポーツの新しい取組みみたいなものを打ち出せないのかなと。そういうものを打ち出したいからこそ、この 3 つの委員会だと思っていますので、そういったところをもうちょっと強化できるような内容にできないのかなというのは、期待も含めてご提案させていただきたいなと思います。

以上です。

■溝口部会長

ありがとうございます。恐らく次のテーマにも木村委員がおっしゃった提案はつながると思うので、それでは続いて項番 4 の「新計画策定に向けたアンケート質問項目について」、事務局からご説明をお願いしたいと思います。

4 新計画策定に向けたアンケート質問項目について

■事務局（スポーツ振興課長）

原田です。事務局から、アンケートについてご説明させていただきます。使わせていただくのは、資料 7-1、7-2、参考 1 ですが、基本的には 7-1 を使ってご説明できればと考えております。

こちらのアンケートですが、大きな変更はありませんが、経年比較というところで、ゼロベースではなくて必要に応じて見直していくという方針でアンケートは取っていければと思っておりますけれども、こちらについてもご意見等を様々賜ればなと思っております。

資料 7-1 をご覧いただければと思うのですが、こちらのアンケート調査項目について、所管課が今検討しているところで、新しく追加する項目であったり、そのまま続けるものであったり、削除するもの、変更するものを一覧にさせていただいている資料になっております。

ご覧いただくと、最初のほうは一般区民向け調査の質問であったりするのでありますが、おめくりいただいて 3 ページ目に新しいものを加えたいというところで事務局の提案がございます。

「運動習慣・健康意識の関連」で、運動習慣の定着を新たに質問を加えたいなと思っております。

す。具体的には「健康を意識して体を動かしていますか？」という設問を加えたいと思います。

4 ページですけれども、「日常生活の中で、意識して体を動かすような行動を取っていますか？」みたいなところも聞けたらなと思っております。

また併せて「運動機会の希望・ニーズ把握」で新たに入れたいなと思っているのが、「どのような運動・スポーツプログラムであれば参加してみたいですか？」みたいなものも新しく聞けたらいいなということを事務局で考えているところでございます。

5 ページ目、続きまして「地域連携・ボランティア視点」で、「地域で開催される運動・スポーツイベントに参加したことがありますか？」と「スポーツイベントや教室の運営にボランティアとして関わりたいと思いますか？」ということも、これまで聞いておりませんでしたけれども、新たに聞いてみたいということで入れさせていただいております。

6 ページ目の新規のところだと、効果測定といいますが、「どこでやりましたか」とか「どれぐらいの頻度でやっていますか」みたいなことはお聞きしているのですけれども、「やってみてどう感じましたか？」とか、例えば楽しかった、気分が明るくなった、健康になった、夜眠れるようになったということをどう感じているかということも新たにはかりたいと思っています。

6 ページ目、30 番は少し変更というところで、実施しなかった人に運動・スポーツをしなかった理由を問うている設問があるのですけれども、選択肢がいっぱいあるのですね。こちらは参考資料 1-1 をご覧いただきながらがよろしいかなと思うのですけれども、運動・スポーツを実施しなかった人に運動しなかった理由を聞いております。参考 01-1 の 10 ページ目の一番下に「あなたが運動・スポーツをしなかった理由は何ですか」というところで、設問の選択肢が 16 個あって迷ってしまうのではないかなというところがあったので、ここは整理したいなと思っているところです。

それ以外ですと、32 番の「（観戦したひとのみ）観戦の仕方（区外・区内）」で、こちらにつきましても修正したいと思っております。

続いて 33 番、こちらは削除になるのですけれども、観戦しなかった理由についての答える設問ですが、観戦しなかった理由を聞く必要があるかなということで、事務局としては削除したいなと思っているところでございます。

事務局の修正案につきましては以上でございますけれども、それ以外にも追加の質問とか修正とか、いろいろご意見を頂ければと思います。

以上でございます。

■溝口部会長

ご説明ありがとうございました。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

補足をよろしいでしょうか。先ほどのご意見を踏まえまして、少しだけ補足をさせていただきますと、いま一度このアンケート自体の仕組みをご説明しますと、無作為抽出で 3,000 人の区民の方に発送することを予定しております。郵送で紙の資料を発送するのですけれども、QR コードで読み込んでいただいてオンラインでも回答できるような仕組みになっているのが、このアンケートの仕組みとなっております。その点でいいますと、先ほどご意見がありましたスポーツに取り組んでいる方だけではなくて一般の方に広く聞きますので、このアンケートにつきましては、スポーツに取り組んでいない方ですとか、スポーツに関心がない方も含まれております。

加えて、もう 1 点だけ。このアンケートの特徴でいいますと、文化と読書とスポーツの質問を

まとめて聞いている形になります。これは事務局の期待もあるのですが、スポーツには関心があるけれども読書には関心がないという方も答えていただいていますので、例えばスポーツに関心がある方は読書に対してどういう関心を持っているかとか、3分野相互の関係が確認できるものになります。スポーツ単体のアンケートですと、正直スポーツに関心のある方しか回答いただけないというのはあると思うのですが、3分野共通ですので、どれかに興味がある方は答えていただいて、その方がほかの分野にどう興味を持っていたか。先ほど木村委員からも、せっかく3分野でやっているところがございましたので、そういった分析は今後もやっていきたいというふうに思っています。

私からの補足は以上でございます。

■事務局（スポーツ振興課長）

申し訳ございません。スポーツ振興課、原田です。資料7-2の子ども用のご説明が漏れておりました。大変失礼いたしました。

子どもにも別途アンケートを取らせていただくのですが、そちらについても事務局の修正案がございます。

まず1ページ目の8の下ですけれども、「運動・スポーツを実施しなかった理由」をお聞きしていなかったのも、こちらは新たにお聞きしたいと考えております。

それ以外ですと、4ページ目の9番の下で、実施されている場所ですとか、「どこで運動・スポーツをしましたか？」とか、先ほどとちょっと似ているのですが、効果実感、「スポーツをやってどういう気持ちになりましたか」というところも新たに聞きたいと思っています。

また、運動のきっかけみたいなのところも新たに聞きたいなと思っております。

以上でございます。

5 質疑応答・意見交換

■溝口部会長

ご説明ありがとうございました。

事務局から新計画策定に向けたアンケート質問の項目について説明がありました。本日の主要議題の次第1～4についての説明が終わりました。今、新しいアンケートのご説明を受けましたので、それを踏まえて皆様からご意見を賜りたいと思います。

今度は反対周りでいきましょうか。木村委員からお願いします。

■木村委員

このアンケートに関して、私は特に意見というのは……。もうちょっと拝見させていただいてからできればと思います。

■溝口部会長

私がおのれにちょっと質問させていただきます。

文言のところで Web とオンラインという言い方があって、ちょうどコロナだったのでオンラインとかという言葉が、今は Web といっても、先ほど言ったようにホームページもあるし、SNS もあるので、あとオンラインで見るといのが何なのだろうというところで、この辺の言葉がどういふに理解されるのかなと。オンラインといのがどうなのだろうという。今だと SNS とかのほうが分かりやすいのかなと。年代によって、若い人は SNS かなというところで、Web という

とホームページかな、SNSかなというところでは、ちょっと言葉を今どきにアップデートしたほうがいいかなという印象を持ちました。

あとは、スポーツだけにとどまらず、文科系というか、足立区ならではの広い範囲で相関的なデータ、読書好きは運動嫌いなのか、スポーツイベントに参加する人も読書にすごく興味があるとか、そういう足立区ならではの風土というか、特徴がこれだと網羅できるのかなと。クロス集計が出てくるのが面白いなという印象を持ちました。

ということで、伊藤のぶゆき委員からいきますか。

■伊藤委員

今、さっと目を通して見ていますけれども、今の段階では、意見は特にはないです。

これ、無作為に 3,000 人って、どれぐらい返事をもらえているのですか。全員が全員もちろん答えてくれているわけではないですよね。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

過去の実績でいいますと、3 割弱の方が回答していただいています。過去 8,000 人に調査をしまして 35%ぐらい、8,000 人に出して 2,800 人ぐらいが回答していただいている。

■溝口部会長

今回は子どもと大人を合わせて 3,000 人。割合はどういうふうな……

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。今回 16 歳以上向けの一般区民の方で 3,000 人と考えています。あとは小学校 5 年生とか中学校 1 年生に、特定の学校を指定して協力をお願いして、それぞれ 700～800 ずつぐらいということで考えております。

■溝口部会長

3,000 人プラスという感じですか。

■事務局（中央図書館長／3 分野連携担当課長）

はい。

■溝口部会長

ということだそうです。

中村委員、いかがでしょうか。

■中村委員

特に……、よく見ていないから。

全体的に言えるのですけれども、足立区はスポーツをしている人たちの現状把握を、足立区が所有している施設とか、イベントに参加する人たちとかというベースで捉えていて、以前質問したことがあるのですが、足立区にスポーツクラブがありますよね。スポーツクラブに通っている人数の把握とか、あるいは属性、年齢層も含めて。例えばセントラルであれば、業務委託していますから、取れるんじゃないですかね。この間、区民評価委員会のほうで聞いたら、10 数%なんです、65 歳以上。私も今日もスポーツクラブに行ってきましたけれども、昼間は 70 歳ぐらいです、平均が。10 数%というのはおかしいんじゃないかなと思って、水曜日に聞くことになるかと思うんですけれども、データをきちんと取っていただいて、お金を払って個人で健康を管理できる人たちはジムで行ってやっていただければいいわけですよね。そうじゃない人たちをどうやって区が拾っていくか、救っていくかということだと思うので、区でできる情報収集をもうちょっときちんとやっていただきたいなというふうには思っています、個人的には。

■溝口部会長

ありがとうございます。社会調査ってすごく難しいところで、階層というのがある中で、中村委員が終始言っているのは、スポーツに興味がある人の中で、東京都の特徴で、すごく格差がある。そこに見えていない層ですよ。そういった層にどう届くのか、どういう調査ができるのかというのも足立区ならではのテーマかなとは思いますが。それについてはどうですか、事務局のほうでは。低所得者とか、高齢者の労働者の人たちという層に、なかなかアンケートがしにくかったり、だから公園でやってハードルを低くしてというところでアンケートを取ったというところもあると思うのですが、多様な人たちがいるまちだと思うので、その点についてはどのような考えをお持ちなのでしょう、事務局としては。

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。ご指摘の点は、確かにそういう調査方法もあるかなというのは理解しているところでして、基本的には無作為抽出という手法を選択させていただいたのは、広く区民の方を満遍なく取らせていただいて、質問の中に所属のデータとかは入れておりませんので、細かい属性というのはなかなか難しいところと、所属に関する質問というのもデリケートな質問になりますので、入れるところが難しいのかなと。実は当初そういう検討もあったのですが、それは入れていないというところがございます。ただ、もう少し深掘りができるようなアンケートということでいいですと、やり方はあるかと思っておりますので、ご意見を踏まえて何ができるかというのは検討させていただきたいと思っております。

■木村委員

先ほどちょっと質問できなかつたんですけれども、3,000人の方に無作為でされることに関して、前のアンケートのときに8,000人のうち35%となると、今回も同じで3,000人で35%だと1,000人ぐらいというふうに考えていらっしゃるのかなと。その1,000人の年齢層の割合であったり、地区の割合って、想定としてはどういうものを考えていらっしゃるのか。僕の勝手な主観ですが、高年齢層の方がお答えされていることが、先ほどターゲットにされている社会人系の方とかはお答えにならないケースが多いのかなと思っていて、そこら辺を拾えなかったりするアンケートにならないのかなと話をお伺いしていて心配になったので、そこら辺のご見解とかあるのかなということでお伺いしたかったのですが、

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。地域ですとか年齢については、実際の足立区の人口のバランスに合わせて無作為抽出という形でやらせていただきます。無作為抽出を全くのフリーでやるというわけではなくて、例えば千住地域に足立区民の2割がもし住んでいるとしたら、今回のアンケートも千住地域の方に2割を送るような形で抽出をしている形になりますので、特定の地域に偏って取ってしまうということはないです。実際の足立区の方がフラットに、皆さんが同じ割合で答えられるような統計にはなっております。

■木村委員

最初に配る段階ではそうだと思うのですが、回収の話です。回収はどういう想定をされているのかなと。地域の偏りとか、年齢層の偏りとか、どうしても出ちゃうと思うんですよ。そこかの想定をした上でのアンケートだとは思いますが、どういう想定なのかなというのをこちらから。

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。申し訳ございません。今日は手元に資料不足ですけれども、過去のアンケートで、どちらの居住地域の方にどれぐらいの割合で答えていただいたかというのは実績がございます。そちらをまとめたものを資料としてお送りさせていただきますので、そちらでご確認いただければと思います。基本的には、そんなに偏っていなかったという理解でおりますが、再度確認させていただきます。

■木村委員

年齢層も偏らないんですか、それは。すみません、勉強不足で。

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

例えば高齢者の方が物すごく多く答えて、若い方は全く答えていないということではなかったと思うのですが、ちょっと確認させていただいて、資料としてお配りさせていただきたいと思います。

■木村委員

ありがとうございます。もしあるのであれば、対策とか取ったほうがいいのかと思っただけです。

■溝口部会長

ありがとうございます。

そのほかご意見はございますでしょうか。——よろしいでしょうか。

それでは、ちょっと早いですけれども、時間になりましたので第1回足立区文化・読書・スポーツ推進委員会運動・スポーツ部会はここで終了させていただきます。

本日は令和7年度最初の部会ということで、3分野計画の評価やアンケート質問の項目についての意見交換が中心となりましたが、本日の意見内容を踏まえて、次回の部会では具体的な議論に進んでいただきたいと思います。

不慣れな司会進行でございまして、皆様の意見が集約できなかったかもしれませんが、事務局にうまくまとめていただいて、最後のほうに木村委員からあったように、階層とか、評価をする上でお出しいただけるようなので、また次回、もしくはメールで追加の資料がありましたら送付していただけるとありがたいです。

それでは、これで会を終了としたいと思います。最後に事務局から事務連絡をお願いいたします。

6 今後の予定

■事務局（中央図書館長／3分野連携担当課長）

事務局、大久保でございます。まず私から、次回の会議までの流れについてご説明させていただきますと思います。今回、様々ご意見を頂きましたものを事務局でまとめさせていただいて、質疑一覧という形で一旦整理をさせていただきます。また、本日ご確認し切れなかった資料もあるかと思うので、資料ですとか本日の質疑等を踏まえて、ペーパーでもう一度質問を頂く機会を設けさせていただきと思います。基本的には次回の会議が2か月後を予定しておりますので、今後2～3週間ぐらいの間に再度質問を頂く期間を設けさせていただいて、それに事務局のほうで回答させていただいて、それを一度やってから皆様には評価のコメントを書いていただくシートをお送りさせていただきたいと思います。特にアンケートの部分については、本日なかなかご説明が行き届かなかった点もあるかと思うので、いま一度質問票等をご確認いただきまし

て、ご意見がありましたら賜ればと思います。そういったやり取りをメール等でさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

私からのご案内は以上となります。

■事務局（スポーツ振興課長）

続けて、スポーツ振興課長の前田です。事務局から追加で3点ご連絡させていただきます。

次回の開催は令和7年8月26日を予定しております。日程確定ではございませんので、確定次第、通知等のご案内させていただきます。次回の部会は第2回目となりますので、本日頂きましたご意見を事務局で整理させていただきまして、3分野計画の評価ですとかアンケートの質問項目について部会としての案を取りまとめさせていただきたいと思います。通知や会議資料につきましては、改めてお送りさせていただきます。

次に、本日の議事録ですけれども、事務局にて案を作成させていただきまして、委員の皆様にお送りして内容のご確認をいただければと思っております。委員の皆様の確認が終わりましたら、区ホームページの掲載を予定しております。

最後でございますが、お車でお越しの方は、駐車券を用意しておりますので、出口付近の係員にお伝えください。

本日はどうもありがとうございました。